



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222)7207番

※ 電話番号は4月29日から変更になります

92.6.15 No. 3609

6・27 国鉄労働者集会へ総決起よ!

中労委「解決案」拒否、更なる闘いの原動力へ

清算事業団闘争の 解体策す「解決案」

五月二十八日、中労委から示された清算事業団事件に対する「解決案」は、「国鉄分割・民営化」の過程を通して行われた国家的不当労働行為に一言も触れないという解決案ならざる解決案であり、

水泡に帰す

「分割・民営化」体制

われわれ国鉄労働者は、あの忌まわしき「六二・四・一」＝「JR発足」を断じて許すものではない。十万人の首切り、百名を越える自殺、差別・選別、そして三年後の清算事業団労働者一〇四七名の首切り、そのどれを

国鉄労働運動の

真価をかけた

さらなる闘いへ!

JR体制を乗り越え脈々と受け継がれた国鉄労働運動の炎は、清算事業団闘争の爆発―動労千葉の運転保安確立・労働条

件獲得の実力闘争として結実し、とりわけ闘争団・争議団として不屈に闘い続ける清算事業団労働者の決起―百件をも数え

る地労委での勝利を通して闘いの火の手は拡大の一途をたどってきた。時あたかも「分割・民営化」体制が音をたてて崩壊する今日、それに「トドメ」をさす真実こそ清算事業団闘争の力である。

その意味において六二七国鉄労働者集会の持つ意義は、清算事業団闘争の真の勝利を、「JR体制」打倒の闘いを、労働再編にうって出てきたJR当局に最大の打撃を与えるものであり、JR総連を解体していく重要なものとなった。全支部・全組合員は一丸となって、六二七東京・南部労政会館へ結集しよう!

6・27 国鉄労働者集会

日時 1992年6月27日(土) 14時から

場所 東京・南部労政会館(大井町駅下車)

集合 千葉駅 12時34分(9番)発
快速最後部車両乗車

最大限での結集を!

「解決案」に対する態度と方針!

- ① 動労千葉としては、「解決案」に基づく和解交渉は行わないこととし、中労委に対しては、すみやかに不当労働行為救済命令を求める!
- ② 7月10日開催される第28回臨時委員会において、清算事業団闘争の今後の具体的取り組みを決定する。
- ③ 当面は6月27日に開催される、「清算事業団闘争勝利、JR総連打倒、国鉄労働者集会」に全力結集する。
- ④ 清算事業団公判および公労法解雇公判の判決日が指定された場合には、緊急の総決起集会を開催する。



全員の解雇撤回
原職奪還へ
組織の総力を!